# 9月 ほけんだより

令和７年９月１日　　こぼうしこども園

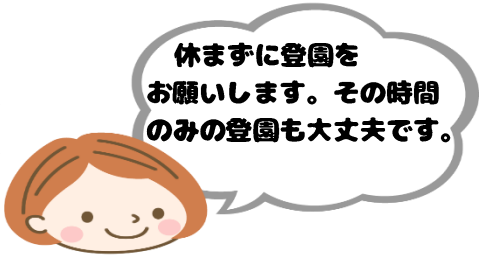
本来なら夏の暑さが和らいでくる季節ですが、今年は全国的に残暑が厳しいという予報が出ています。

夏の疲れからか、体調を崩したり、感染症の報告もみられるようになってきました。休息や栄養をしっかりとり、引き続き熱中症対策もしながら、まだまだ続く残暑を元気に乗り超えられるようにしたいと思います。

**後期内科・歯科検診の日程**

・10/8(水)内科健診　13:30～

・11/21(金)歯科検診　9:30～




夏風邪は、特に暑い季節に流行しやすく、体力を消耗しやすい環境で発症しやすくなります。

**〇手足口病**　・手のひら、足、口の粘膜などに 5～7mm の小さな水疱

**〇ヘルパンギーナ**　・上あごの奥に周囲が赤くなった 1～数 mm の小さな水疱

**〇咽頭結膜熱(プール熱)**　・咽頭痛・扁桃腺の腫れ・目やに

アデノウイルスには約 50 種類のタイプがあり、咽頭結膜熱になるものもあれば、眼が赤くなって目やにが出るだけのもの、さらには胃腸症状として現れるものもあります。くしゃみなどの飛沫や接触などによって人から人に伝染します。また三つとも発熱があるのが特徴です。

## 気をつけたい夏風邪

食欲がない・いつもより元気がない(動き回れる体力がない)・鼻水、咳がひどい、機嫌が悪いなどの場合は、まだ完全に良くなっていないことを示しています。集団生活に支障がない（普段の通りの食欲、平熱、咳・鼻水など風邪症状がない、機嫌が良い)状態になりましたら登園するようお願いします。

## 新型コロナウィルス感染症の流行

例年夏と冬に感染のピークを迎える新型コロナウィルス感染症ですが、今年の夏も感染者が増加しています。お盆や夏休みなどの、人の移動が活発になったことが原因の一つのようです。会津若松市内でも、先週の感染者は、先々週の倍との報告がありました。

今回は変異ウィルスとのことで、感染力がこれまでの２倍とやや強く、発熱や咳などの主な症状の他に喉の強い痛みが特徴のようです。また、重症化のリスクは上がっていませんが、一度もコロナウィルスに感染したことのない子どもは重症化しやすいとのことで注意が必要です。

今のところ、こぼうしこども園での感染はありませんが、これだけ感染の拡大がみられると注意が必要です。手洗い・換気・体調管理など予防対策をしっかりし、感染を防ぎたいところです。

家族など、子ども達の身近に感染者が出た場合には園に報告していただき、お子さんの体調の変化など十分に留意していただきたいと思います。

感染状況を含め、嘱託医からのアドバイス、園からのお願いなど、大切な情報を“かんたんメール”にて配信しています。お子さんが元気に園で過ごし、保護者の皆さんが安心してお仕事ができるように、３８℃の熱がなくても大事をとり連絡を入れる場合もあります。その都度ご理解いただき、受診や早めのお迎えにご協力頂き本当にありがとうございます。

こども家庭庁が定める「保育所における感染症対策ガイドライン」では、新型コロナウィルスは第二種の感染症に分類され、出席停止期間は「発症した後５日を経過し、かつ、症状が軽快した後１日を経過するまで」 とされています。